

営農技術情報

— 畑作（大豆⑤） —

令和2年 7月29日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センターTEL01654-3-4307

マメシクイガの適期防除を実施しましょう！

1 マメシクイガの成虫を確認しました

7月4半旬、名寄市4カ所に設置したフェロモントラップのうち3カ所に成虫が誘殺されました（表1）。

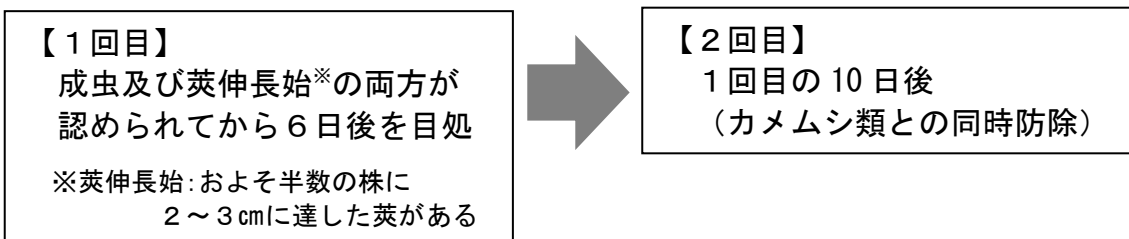
表1 マメシクイガ成虫の誘殺頭数

| 設置場所 | トラップ 設置月日 | <本年> 7月4半旬 (7/16~20) | 初発確認 | |
|------|--------------|----------------------------|------|--------------|
| | | | 昨年 | 過去10年 の平均 |
| 風連 | 西風連 | 7/16 | 1 | - |
| | 緑町 | 7/16 | 1 | 7/21~26 |
| | 豊里 | 7/16 | 2 | - |
| 智恵文 | 中央 | 7/20 | 0 | 8/1~5 |

2 マメシクイガ及カメムシ類の防除

マメシクイガは、大豆の子実を食害する重要害虫です。莢の表面に産卵し、ふ化した幼虫が莢の中に潜り込んで子実を食害します。被害粒が多いと大きな減収要因となります。ほ場内で越冬するため、連作ほ場では成虫の発生量が多くなります。

また、近年、道内の各産地でカメムシ類による子実の吸汁害（しみ症状）により、販売先からクレームが来る事例が発生しています。マメシクイガとの同時防除が可能です。



【マメシクイガ・カメムシ類の防除薬剤例】

(令和2年度JA農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイドより)

| 散布 時期 | 薬剤名 | 系統名 | 使用倍率 | 使用時期 (収穫前日数) | 使用 回数 | 特性 | |
|----------|-------------|--------|--------|-----------------|----------|----|----|
| | | | | | | 発現 | 残効 |
| 1回目 | ゲットアウトWDG | ピレスロイド | 3,000倍 | 7日前 | 3 | 速 | 中 |
| | プレバソンフロアブル5 | ジアミド | 4,000倍 | 7日前 | 2 | 速 | 長 |
| 2回目 | トクチオン乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 30日前 | 3 | 中 | 中 |
| | エルサン乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 7日前 | 2 | 速 | 短 |
| | サイアノックス乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 7日前 | 2 | 速 | 短 |

※「ゲットアウトWDG」「エルサン乳剤」は、アブラムシ類にも登録がある。

※「トクチオン乳剤」は、アブラムシ類、ハダニ類にも登録がある。

※「サイアノックス乳剤」はマメシクイガの登録である。

◎ 農作業中は休憩、水分をこまめにとりましょう ◎